



No.43 2020.4.6

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

新年度がはじまりました

2020年度(令和2年度)がスタートしました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、私たち一人一人の行動が試されているように感じます。阪神淡路大震災(1995年)、東日本大震災(2016年)と25年間という短い間に未曾有の災害を経験してきましたが、今回の新型コロナウイルス感染症は私たちの社会の弱点を一気にさらけ出し、いきなり“これまでの社会ではなく、これからの社会へ”の変化を求められていると思います。そして、教育のあり方、人と人とのつながり、コミュニティのあり方が問い直されていると感じます。それも今までの教育、今までの人と人とのつながり、コミュニティのあり方ではなく、これからの時代の中でも持続可能な教育のあり方が求められているのだと感じます。それらを創っていくのはまさに私たちであり、一人一人が「ワガゴト」として捉え、当事者意識を持つことが求められているのだと感じます。

新年度が始まり、新型コロナウイルス対応での準備・対策で慌ただしい中で、ではどんなことができるのかと言われそうです。ただ、今求められているのは、これまでの延長ではなく、なにより広く意見を聞き、熟議しながらゴールを共有し、課題を解決していく仕組みを創っていくことではと考えます。

コミュニティ・スクールのめざす、「いい学校づくり=いいまちづくり 未来を創り・社会を支える新たな学びと育ちのシステムづくり」に向け学校・保護者・地域で熟議を重ねていくことが大切であり、まさに、今がそのタイミングなのではと思います。そして、そのことが、「社会に開かれた教育課程」をデザインし、マネジメントしていくことにつながっていくと考えます。そして、何よりも色々な生きた新しいアイデアが出てくるのではと思っています。

こんなことから チャレンジしてみても

現在の状況の中で、子どもたちの学びのあり方に焦点を当て、どのようなことができるかを検討することも必要だと考えます。参考になるのが、全国の自治体の中ですすめられている先進的な取組です。熊本市の「全校オンライン授業に」というニュースを見ると、環境等条件面は整っていないところもありますが、準備をしていかなければいけないのではと感じます。そこで次の2つを考えてみました。校内で、そしてコミュニティ・スクールの中で考えてみるきっかけになればと思っています。

(1)テレビ会議アプリの体験実験を行う

○ネット環境等ハード・ソフト面での課題はありますが、テレビ会議アプリをまず先生が体験する、そして保護者の皆さんや地域の皆さんにも体験してもらうという実験を行い、実際に使えるのか、使えたとしても、どのような課題があるのか、またどんな使い方ができるのかを一緒に考えながら、これからの教育の方向性を学校・保護者・地域で共有する。

(2)YouTube等の活用方法を検討する

○これもテレビ会議アプリの体験実験と同じですが YouTube等の教育的活用を学校・保護者・地域で検討してもいいのではと思います。例えば、19ch.tvというサイトでは算数・数学を中心に15分程度の授業動画を流しています。こうしたサイトを緊急時だけでなく平常時で学校の授業と並行しながら活用することで、子どもたちの学力保証&学力補償の道を探ったり、これからの学びのあり方を学校・保護者・地域で方向性を共有することも大切ではと考えます。

いずれも、学校・保護者・地域がゴールを共有し、協働に向けての一步につながると考えます。

「住民みんなが交流し、助け合えるまちづくり」＝「いい学校づくり＝いいまちづくり」

松が丘まちづくり協議会さんから「松が丘まち協だより」が届きました。まちづくりの第2次5ヶ年計画の策定やまち協の取組、そして松が丘サミット、地域情報等の記事が写真を交えてわかりやすくまとめられており、まちづくりと学校づくりの重なりが視覚化された紙面になっています。紙面を通して改めてコミュニティ・スクールは地域のインフラ整備なのではと考えさせられました。

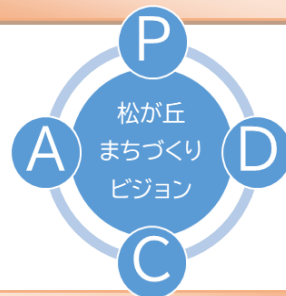
コミュニティ・スクールが導入されたことにより、「共に育つ学校」として、子どもだけでなく、大人も育っていく学校として少しずつ機能ははじめています。何よりも子どもたちが地域のことを「ワガゴト」として考えはじめているのがたのしいです。



プラン（ビジョン）
松が丘のまちづくり
次期5か年計画策定にむけて
これまでの取組から地域の変化（人口変動等）をうけ、「住民みんなが交流し、助け合えるまちづくり」に向けてのこれからの5年間の行動計画を考え始めています。



「住民みんなが交流し、
助け合えるまちづくり」



いい学校はいいまちにある
いいまちにはいい学校がある
いい学校づくり＝いいまちづくり



プラン（ビジョン）のもと、「住民みんなが交流し、助け合えるまちづくり」に向けた活動を、一緒に進められたらと思っています。できる事を、できる時にで結構ですので一緒に活動できたらと考えています。



プラン（ビジョン）のもと、2019年度まちづくり協議会の活動です。
環境部会、地域福祉部会、子ども・交流部会、安全・安心部会とそれぞれの部会が「住民みんなが交流し、助け合えるまちづくり」に向けた活動を行いました。